

**令和7年度
事業報告書**

社会福祉法人 村山市社会福祉協議会

目 次

■ 活動のまとめ

1

■ 1年間の具体的な事業

1、地域福祉活動

(1)	いきいきネットワーク推進事業の充実強化	2
(2)	ふれあい・いきいきサロン事業の推進	2
(3)	救急安心カード普及事業	3
(4)	介護予防体操普及事業	3
(5)	児童福祉の推進	3
(6)	ボランティア活動の支援	4
(7)	生活支援サービスの推進	4
(8)	共同募金運動の推進	5
(9)	社会を明るくする運動の実施	6
(10)	広報活動の実施	6
(11)	当事者組織の事務局設置	6

2、相談支援

(1)	心配ごと相談所の設置運営	7
(2)	地域包括支援センターの運営	8
(3)	認知症地域支援推進員等配置事業の実施	12
(4)	認知症初期集中支援事業の実施	12
(5)	生活支援体制整備事業の推進	13
(6)	在宅医療・介護連携推進事業の実施	15

3、福祉サービス利用支援

(1)	福祉サービス利用援助事業の推進	17
(2)	法人後見事業の推進	17
(3)	成年後見センターの運営	17
(4)	生活福祉資金貸付事業の促進	17
(5)	福祉資金の活用	17
(6)	生活困窮者自立支援事業	18
(7)	フードバンクを活用した生活困窮者支援事業	18
(8)	生活福祉金貸付フォローアップ支援員設置事業	18
(9)	福祉基金への預託	18
(10)	社会奉仕善意銀行の充実	18

4、在宅福祉サービス

(1)	介護保険事業の実施	20
(2)	ほほえみ訪問サービス事業	21
(3)	障がい福祉サービス事業	21

5、法人運営

(1)	社協会員の状況	25
(2)	法人運営事業の開催	25
(3)	福祉センター管理業務事業	26

活動のまとめ

令和7年度の村山市社会福祉協議会は、地域福祉の主たる担い手として「第5次地域福祉活動計画」に基づき、地域共生社会の構築に向けた社会福祉事業の展開と向上に努めました。新型コロナウイルス感染症に伴う人と人との接触機会の減少や雇用環境の変化に対応しながら事業に取り組みました。また、介護保険及び障がい福祉の在宅福祉サービス事業について、健全な財政運営につとめ生活支援を推進しました。

1. みんなで支え合う地域福祉活動の推進

いきいきネットワーク推進事業は、推進員を中心に、地区代表・民生委員児童委員等と連携を取り、近隣住民の支え合いによる見守り訪問活動を行ってきました。ふれあい・いきいきサロン事業の実施により、高齢者の孤立防止と生きがいづくりに努めました。ボランティア活動については、団体・グループへの活動支援、買い物支援サービス、除雪サービス、市報の声の宅配等の活動を実施しました。

2. 誰でもどんなことでも相談できる拠点づくり

心配ごと相談所運営により、住民の抱える様々な相談に、各種相談機関と連携を図りながら積極的な援助に努めてきました。また、各種広報誌やホームページを活用した広報により、住民の身近な相談窓口としてのPRに努め、多くの情報を得やすく、誰でも相談しやすい体制づくりをすすめました。地域包括支援センターでは、高齢者の方が住みなれた地域で元気にいきいきと暮らしていけるよう高齢者総合相談・介護予防・ケアマネジャー支援・認知症施策の推進など多職種と連携を持ちながら事業を推進しました。

3. 福祉サービス利用支援

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等、判断能力が不十分な方々に日常生活に必要な金銭の管理や福祉サービスを利用できるよう支援を行いました。法人後見事業では、法人として成年後見制度の活用が必要な方々の後見人等を受任し、財産管理や意思決定支援を考慮した身上保護等の支援に取り組みました。

また、生活困窮者自立支援事業では、低所得世帯などの自立更生のために相談援助や資金貸付を行い、生活意欲の助長と社会参加の促進を図ってきました。

4. 在宅福祉サービスの展開

介護保険事業（居宅介護支援事業・訪問介護事業等）及び障がい福祉サービス事業等（居宅介護、相談支援、児童発達支援、放課後等デイサービス、就労継続支援B型、生活介護、就労移行支援、就労定着支援、日中一時支援）に積極的に取り組み、心身の状況に応じた、利用者本位のサービス提供に努めてきました。

5. 法人運営

地域住民に開かれた組織作りのために、社会福祉協議会各地域支会及び各地域まちづくり協議会との協働と連携を図り、基盤強化に努めてきました。また、村山市の福祉の拠点施設である村山市福祉センターの管理業務として、福祉団体、ボランティア団体等に利用促進を図ってきました。

以下、1年間の具体的な事業について報告いたします。

1 年間の具体的な事業

1、地域福祉活動推進

住民参加や協働による福祉活動の支援、福祉のまちづくりや福祉コミュニティづくりなどを展開し、地域福祉推進の中核的な役割を果たすため以下の事業を実施した。

(1) いきいきネットワーク推進事業の充実強化

地区代表、民生委員児童委員、いきいきネットワーク推進員を中心に、地区内の対象者に対して隣近所等身近な住民による見守り・声かけ訪問活動を日常的に実施し、緊急時の早期対応や共助の精神のもと、お互いに支え合う体制づくりを行った。

① ニーズ調査及び見守りネットワークの組織化

民生委員児童委員を中心に、対象者に対する見守り活動の必要性について調査を行い、具体的に近隣住民がどのような方法・頻度で見守るか援助計画表を作成し、見守りネットワークの組織化を実施した。

- ・対象 高齢者世帯、ひとり暮らし、日中ひとりきり、ねたきり、認知症、身体障がい者、知的障がい者、母子（父子）家庭、児童 等

② 見守りネットワーク活動の展開

民生委員児童委員の調査による見守りを必要とする高齢者・障がい者等を、援助計画表に基づき市内135地区に配置したネットワーク推進員を中心に、地区代表や民生委員児童委員、近隣住民2～5名と共に日々の見守り・声かけ訪問活動を行った。

- ・ネットワーク対象者数 492名（日々見守りを受けている方）
- ・ネットワーク協力者数 延べ526名（日々見守りをしている隣近所等の方）

③ 地域住民福祉活動事業として住民主体の活動を支援

地域単位で社協支会が中心となり、地域の実情にあった福祉活動に対し支援を行った。

- | | |
|------------------------|----------|
| ・大倉支会：高齢者訪問事業 | 50,000 円 |
| ・西郷支会：日用品配布事業 | 50,000 円 |
| ・富本支会：ふもとふれあい交流（喜寿お祝い） | 50,000 円 |
| ・戸沢支会：地域福祉ネットワーク事業 | 50,000 円 |
| ・袖崎支会：在宅介護者交流事業 | 50,000 円 |
| ・大高根支会：高齢者巡回訪問事業 | 50,000 円 |

(2) ふれあい・いきいきサロン事業の推進

地域住民が主体となり、在宅高齢者等が孤独感を解消し、介護予防しながら、地域で安心できる支援体制の確立と地域住民のふれあいの拠点づくりを支援しました。

- | | |
|-----------|--------|
| ・開設サロン数 | 48団体 |
| ・年間開催回数 | 399回 |
| ・年間延べ参加者数 | 5,349名 |
| ・年間延べ協力員数 | 2,054名 |

① ふれあい・いきいきサロン代表者会議及び協力者研修会の開催

ふれあい・いきいきサロン活動を円滑に継続実施するために、代表者及び協力者を対象と

した研修会を開催した。

期 日 令和8年1月22日（木）10:00～11:15

会 場 甕葉プラザ

参加者 ふれあい・いきいきサロン代表者及び協力者 64名（32団体）

（３）救急安心カード普及事業

平成23年度からの継続事業。あらかじめかかりつけ医や持病などの医療情報を専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、自宅での緊急時の救急医療に活かすため、救急安心カード普及事業に取り組んだ。

- ・配布対象者：高齢者のみ世帯、ひとり暮らし、日中ひとりきり、認知症、ねたきり、身体障がい、知的障がい、精神障がい、母子父子家庭、児童、その他希望する方

① 自宅保管用：安心キット

地域別作成者数

	楯岡	西郷	大倉	大久保	富本	戸沢	袖崎	大高根	合計
総配布数	988	399	169	217	435	312	199	220	2,939

（４）介護予防体操普及事業

気軽に出来る認知症予防体操のDVDを活用して、ほっこり体操会の会員らを中心に、介護予防DVD自主的な介護予防活動の推進に努めた。

① 介護予防サポーター「ほっこり体操会」活動

登録人数：11名

会員練習会：10回（延べ75名、1回当たりの平均参加人数7.5名）

地域及び地区での体操教室：5回ふれあい・いきいきサロン等（延べ121名）

（５）児童福祉の推進

児童福祉推進のため、関係機関の協力を得て青少年の社会性を豊かにする環境づくりのための事業を実施した。また、児童が高齢者宅の訪問や地域・学校行事での交流を通して福祉の心を育み、世代間交流を図ることを目的に、学校や各支会と協働し福祉教育推進事業を実施した。

① 福祉教育推進事業

地域の子どもが高齢者宅の訪問や地域・学校行事での地域住民との交流及びボランティア活動などを通し福祉の心を育み、ひいては地域の活性化と福祉力の向上につながることを目的とし、福祉教育を推進した。

・楯岡支会

楯岡小学校 楯小クリーン活動プロジェクト	31,192円
村山産業高等学校 花育活動	35,000円
楯岡特別支援学校 福祉教育推進事業	35,000円

・西郷支会

西郷小学校 学校ボランティア事業	16,955円
------------------	---------

・大久保支会

大久保小学校 大久保小福祉教育推進事業	15,458円
---------------------	---------

・富本支会

富本小学校 富本小学校福祉・ボランティア事業	14,960円
------------------------	---------

・戸沢支会		
葉山中学校	市内保育所への寄贈	14,432円
戸沢小学校	地域との交流事業「だんごさし」	16,683円
・袖崎支会		
袖崎小学校	地域交流・ボランティア活動事業	15,034円
・大高根支会		
富並小学校	地域ふれあい交流活動事業	14,252円

(6) ボランティア活動の支援

研修会やボランティア保険手続き支援等を行うことで、地域住民がボランティア活動に参加するきっかけや基盤づくりをすすめるとともに、最北地域ボランティアの輪連絡会議に参加し、団体相互の情報共有と、交流による活動の支援を行った。また、在宅福祉ボランティア事業として㊦の会を実施主体とし民生委員児童委員による協力のもと、買い物や除雪等の生活支援サービス事業に取り組むなど、各種ボランティア事業を実施した。

① ボランティア活動支援

ア 最北地域ボランティアの輪連絡会議への参画

【総 会】

日 時：令和7年7月3日（木）10：00～11：00

場 所：わくわく新庄

【研修会】

日 時：令和7年11月5日（水）10：00～12：00

内 容：基調説明「ボランティア活動について」

講師：山形県社会福祉協議会

講演「こころのケア～明日への活動力を蓄えよう！～」

講師：山形県立保健医療大学 安保寛明 氏

場所：わくわく新庄

イ 在宅福祉ボランティア推進事業

・㊦の会（会員数18名）を実施主体とし、民生委員児童委員による協力のもと、各種ボランティア事業を実施した。

・声の宅配 月2回 視覚障がい者へ市報等広報誌を朗読・テープ録音

・買い物支援サービス 登録スタッフ12名 利用登録人数86名 支援回数159回

・正副班長会の開催 令和7年5月21日（水）研修会について等

・研修会 日 時：令和7年10月20日（月）9：40～13：40

内 容：視察研修（村山光ホーム、まなハウスへの視察）

② ボランティア活動の基盤づくり

・ボランティア活動保険 23件

・福祉サービス総合補償 6件

・ボランティア活動等行事用保険 17件

(7) 生活支援サービスの推進

① 外出支援サービス事業の実施

身体的な理由により、公共交通機関を利用することが困難であり、外出支援を必要とする高齢者や障がい者の安定的な移動手段を確保するため、専門スタッフを養成して外出支援サービ

スを実施した。

- ・運転スタッフ数 11名
- ・稼働日数 313日
- ・サービス提供回数 2,534名
- ・利用登録者数 88名（うち新規11名）

（重複あり 単位：名）

身体障がい者	精神障がい者	知的障がい者	要介護認定者	要支援認定者	地域支援事業 対象者	その他
46	10	1	38	19	2	9

② 買い物支援サービス（カーウー号）事業の実施

買い物が困難な高齢者等の介護予防及び有償ボランティアの活動支援を目的として、買い物支援サービス事業を実施した。

- ・運転スタッフ数 11名
- ・買い物ボランティア 12名
- ・サービス提供回数 159回
- ・利用登録者数 86名（うち新規4名）

③ 除雪サービス（雪どけ隊）

市より村山市高齢者除雪等除雪スタッフ派遣事業委託を受け、冬季における高齢者世帯等の除雪困難な世帯に対して、市民等から募集し研修を修了した除雪スタッフをマッチング派遣することにより、高齢者世帯等の安全確保を図った。

- ・利用登録者数 55名
- ・登録スタッフ 18名
- ・サービス提供回数 15回（12月1日～3月31日）

（８）共同募金運動の推進

毎年10月から全国一斉に展開される共同募金運動として、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい運動を推進した。

- ・赤い羽根共同募金

目標額	4,213,000円
実績額	4,186,545円
- ・歳末たすけあい運動

目標額	1,900,000円
実績額	1,939,711円
配分内容	
義援金配分	1,311,000円（59世帯）
福祉活動事業費配分	591,774円（9件）

（※福祉活動事業費配分内訳）

楯岡支会：おたのしみ弁当配食事業	50,000円
西郷支会：歳末ふれあい弁当配布事業	50,000円
大倉支会：大倉地域高齢者交流事業	50,000円
大久保支会：ふれあいおせち料理配食交流事業	50,000円
富本支会：福祉弁当配食交流事業	50,000円
戸沢支会：戸沢地域ひとり暮らし等支援事業	50,000円
袖崎支会：高齢者世帯支援事業	50,000円
大高根支会：ひとり暮らし高齢者への支援事業	50,000円

（９）社会を明るくする運動の実施

犯罪の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力をあわせ、犯罪のない明るい社会を築こうと村山市推進委員会をはじめとする各種関係機関と連携し、街頭広報等の運動の支援を行った。

- ・実施期間 令和7年7月1日～31日（社会を明るくする運動 強調月間）
- ・交付金 2団体に80,000円を交付

（１０）広報活動の実施

社協事業の推進状況を住民に周知し、社協についての理解と関心を深めるために、実践活動の素材を市報やマスコミに提供するとともに、福祉むらやまをはじめとするPRチラシを作成、全戸配布し広報活動に努めた。また、ホームページを活用し、インターネットを介した社協のPRと情報発信を図った。

- ・社会福祉協議会パンフレット 令和7年 5月発行
- ・福祉むらやま 令和7年10月発行
令和8年 3月発行
- ・ホームページ リニューアルの上、随時更新

（１１）当事者組織の事務局設置

福祉に関わる当事者団体の事務局を社会福祉協議会内に設置し支援することにより、団体の活動を強化するとともに、団体との協働による各種事業を展開し地域福祉の推進を図ることができた。

- ・福祉スクール ㊦の会
- ・村山市老人クラブ連合会
- ・村山市遺族会
- ・村山市介護保険連絡協議会

2、相談支援

(1) 心配ごと相談所の設置運営

「村山市中心心配ごと相談所」を設置し、生活安定と福祉の向上に努めた。

- ・ 心配ごと相談 年間開催回数 12回 (毎月第1木曜日)
- ・ 無料法律相談 年間開催回数 12回 (毎月第1木曜日)

内容別相談件数

相談事項	件数
借金	14
相続・遺言	36
労働・職業	2
不動産	14
家族	5
結婚・離婚	9
交通事故	0
医療	1
消費生活	10
人権・法律	10
隣地との関係	4
精神保健	2
高齢者福祉	2
障害(児)者福祉	0
児童福祉	1
教育・青少年	0
ペット・迷惑行為	0
苦情	0
その他	25
合 計	135

① 各種相談機関の窓口一覧表の作成

市内の各種機関の実施する相談事業について、開設日時や場所、対応可能な相談内容等を一覧表にし、民生委員児童委員及び市民センターに配布し、住民からの相談に対する紹介と連携に活用した。

ア 各種相談窓口作成協力依頼先(保安、行政、法律、福祉・子育て支援
保健・医療、青少年教育、権利、年金、労働、消費) 計15件

イ 村山市各種相談窓口担当者一覧作成

ウ 各種相談窓口一覧表の情報掲載

- ・ 村山市ホームページ
- ・ 村山市社会福祉協議会ホームページ

エ 各種相談窓口一覧表配布先

- ・ 村山市民生委員児童委員・主任児童委員 74件

・村山市町内会長・地区長	135件
・各地区市民センター	8件
・医療機関	37件
・市内介護保険事業所	48件
・記載の各種相談窓口	37件
・市内金融機関	16件
・村山市社会福祉協議会理事・監事・評議員	27件
・村山市民会館・甕葉プラザ	2件
・ふくし協力店	51件
・更生保護女性会会員	64件
・市内司法書士・行政書士	9件
・保護司	11件

② 村山市各種相談窓口担当連携会議の開催

福祉課題は複雑化・多様化しており、既存のサービスだけでは対応できないケースや、多機関での連携が必要な相談が増加している。より迅速な対応や課題解決の強化とする為会議を開催した。

期 日 令和7年7月30日（水）市福祉センター

内 容 実施状況、情報交換など

参加者 福祉、消費、困窮、保健、警察、保安の相談担当者9名

（２）地域包括支援センターの運営

平成21年度に村山市より業務委託を受け17年目となった。地域包括ケアを支える中核機関として、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の各事業を実施した。

地域包括支援センター業務

① 総合相談支援事業

年間相談件数 634件

（電話 346件、 来所 237件、 訪問 37件、 その他 14件）

内容の内訳・介護保険その他の介護予防・福祉サービスに関すること	493件
・高齢者虐待に関すること	22件
・権利擁護（成年後見制度等）に関すること	1件
・その他 精神疾患、認知症、住宅改修に関することなど	

② ケアマネジメント支援

- ・市内介護保険サービス事業所料金一覧、相談員・介護支援専門員従事者名簿作成
- ・居宅介護支援事業所等連絡会議の開催

第1回 期日 令和7年5月21日（水） 13名 農村環境改善センター

内容 介護予防ケアプラン作成の流れについて
重要事項の説明について、個人情報取り扱いについて
他法人との事例検討会について

第2回 期日 令和7年8月20日（水） 13名 農村環境改善センター

内容 災害時の指定福祉避難所について
介護用品助成券の介護と障がい等支給の違いによる券の色について

第3回 期日 令和7年11月19日（水） 12名 農村環境改善センター

内容 地域ケア会議における事業所職員の出席について

救急要請時の対応について情報共有

- 第4回 期日 令和 8年 2月18日(水) 13名 農村環境改善センター
内容 認定調査業務における確認事項について
ケアプランデータ連携システムについて
市内介護保険事業所の介護支援専門員等 延べ 51名参加

・小規模多機能ケアマネ等連絡会議の開催

- 第1回 期日 令和 7年 6月20日(金) 5名 市福祉センター
内容 通所型サービスB、訪問型サービスD併用利用時のケアプラン作成の仕方について
利用者の調整と収支バランスについて
第2回 期日 令和 7年10月16日(金) 4名 市福祉センター
内容 通いでの日課について
コロナ罹患者が出たときの対応について
不審者やクマ等の対策について
市内小規模多機能型居宅介護事業所の介護支援専門員等 延べ 9名参加

・サービス提供事業所相談員連絡会議の開催

- 第1回 期日 令和 7年 5月23日(金) 12名 市福祉センター
内容 水害を想定した避難訓練について
利用者増のための工夫について
第2回 期日 令和 7年10月29日(水) 12名 市福祉センター
内容 救急搬送時の受け入れ先について
稼働率の目標について
市内介護保険事業所の通所・訪問サービス相談員等 延べ 24名参加

・村山市ケアマネジメント研修会の開催

- 第1回 期日 令和 7年 6月25日(水) 18名 市福祉センター
内容 事例検討会
第2回 期日 令和 7年 8月28日(木) 24名 市福祉センター
内容 講演 権利擁護に係る様々な事業について～生活困窮者自立支援事業、成年後見センター、福祉サービス利用援助事業～
講師 村山市社会福祉協議会 生活支援係 主任 金澤 広奈氏
第3回 期日 令和 7年10月22日(水) 20名 市福祉センター
内容 講演 ヤングケアラー支援について
講師 山形県地域包括支援センター等協議会
ヤングケアラーコーディネーター 橋本 晶子氏
市内介護保険事業所の介護支援専門員・相談員等 延べ 62名参加

③ ネットワーク構築業務

・地域ケア会議（推進会議・個別会議）の開催

- 第1回 期日 令和 7年 4月24日(木) 市福祉センター
内容 地域ケア推進会議（委任状交付）
個別ケア会議（事例提供 村山社協介護予防支援事業所 早川麻実、
特養ふもと居宅介護支援事業所 後藤武志氏）
各機関からの情報交換
参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員22名

- 第2回 期日 令和 7年 5月15日(木) 市福祉センター
 内容 個別ケア会議(事例提供 村山社協介護予防支援事業所 高橋律子、
 奥山クリニック居宅介護支援事業所 斎藤貴美絵氏)
 各機関からの情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員22名
- 第3回 期日 令和 7年 6月19日(木) 市福祉センター
 内容 個別ケア会議(事例提供 ローズむらやま居宅介護支援事業所 青木
 千鶴氏、小規模多機能型居宅介護事業所 笛田 三浦洋一氏)
 各機関からの情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員17名
- 第4回 期日 令和 7年 7月17日(木) 市福祉センター
 内容 個別ケア会議(事例提供 奥山クリニック居宅介護支援事業所 石塚
 紗耶香氏、ニチイケアセンター村山居宅介護支援事業所
 森和子氏)
 各機関からの情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員20名
- 第5回 期日 令和 7年 9月18日(木) 市福祉センター
 内容 地域ケア推進会議(今年度前期の会議で検討した8事例の現状報告)
 各機関の事業実施状況等と情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員・市内居宅介護支援
 事業所介護支援専門員27名
- 第6回 期日 令和 7年10月23日(木) 市福祉センター
 内容 個別ケア会議(事例提供 ローズ村山居宅介護支援事業所 野田文子氏・
 特養ふもと居宅介護支援事業所 斎藤由美氏)
 各機関からの情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員18名
- 第7回 期日 令和 7年11月20日(木) 市福祉センター
 内容 個別ケア会議(事例提供 ニチイケアセンター村山居宅介護支援事業所
 櫻井静香氏、村山社協介護予防支援事業所 小松紗綾)
 各機関からの情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員18名
- 第8回 期日 令和 7年12月18日(木) 市福祉センター
 内容 個別ケア会議(事例提供 奥山クリニック居宅介護支援事業所 芳賀
 恵美氏、小規模多機能型居宅介護事業所 井上順一氏)
 各機関からの情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員19名
- 第9回 期日 令和 8年 1月22日(木) 市福祉センター
 内容 個別ケア会議(事例提供 訪問看護ステーションむらやま居宅介護
 支援事業所 鈴木久美子氏、香紅の里居宅介護支援事
 業所 奥山麻里子氏)
 各機関からの情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員19名
- 第10回 期日 令和 8年 3月19日(木) 市福祉センター
 内容 地域ケア推進会議(今年度後期の会議で検討した8事例の現状報告)
 各機関の事業実施状況等と情報交換
 参加者 医療、保健、福祉、警察、権利擁護等の構成員・市内居宅介護支援

事業所介護支援専門員22名

・北村山3市1町地域包括支援センター連絡会・研修会

連絡会

- | | | | | |
|-----|----|--|--------|---------------|
| 第1回 | 期日 | 令和 7年 5月12日(月) | 5包括8名 | さくらんぼアウトリセンター |
| | 内容 | 今年度の合同研修会開催について・情報交換 | | |
| 第2回 | 期日 | 令和 7年 7月 3日(木) | 5包括10名 | ふれあいセンター |
| | 内容 | 進行状況の確認、今後のスケジュールについて・情報交換 | | |
| 第3回 | 期日 | 令和 7年 8月29日(金) | 5包括10名 | ふれあいセンター |
| | 内容 | タイムスケジュール、役割の確認、アンケート内容の確認について・情報交換 | | |
| 第4回 | 期日 | 令和 7年 11月26日(水) | 5包括10名 | さくらんぼアウトリセンター |
| | 内容 | 今年度の研修会の振り返りとアンケート結果について、次年度の計画について・情報交換 | | |
| 第5回 | 期日 | 令和 8年 2月24日(火) | 5包括9名 | 老人福祉センター東光館 |
| | 内容 | 令和8年度の合同研修会について | | |

合同研修会

- | | | | |
|----|---|------|---------------|
| 期日 | 令和 7年 9月12日(金) | 159名 | さくらんぼアウトリセンター |
| 内容 | 講演 「誰のため?何のため?」から考える
これからの医療/介護と地域包括ケア | | |
| 講師 | 合同会社ソラリコ 猪狩 僚氏 | | |

- ・いきいきサロンふれあいサロンへの講話など 7回
- 参加者 延べ104名
- ・市内福祉施設運営推進会議・施設入所検討委員会への参加 36回
- (書面会議 2回)
- ・介護保険事業連絡協議会の実施 12回
- 参加者 延べ263名
- (書面会議 0回)

・介護保険事業連絡協議会研修会の開催

視察研修会

- | | |
|-----|--|
| 期日 | 令和 7年 8月22日(金) |
| 内容 | 養護(盲)老人ホーム山静寿(山形市)、デイフィットたび空(天童市)の施設見学 |
| 参加者 | 18名 |

研修会

- | | | |
|-----|---|------------|
| 期日 | 令和 8年 1月20日(火) | 農村環境改善センター |
| 内容 | 講演 職場で活かすメンタルヘルスケアとストレスコーピング | |
| 講師 | 山形産業保健総合支援センター
メンタルヘルス対策・両立支援促進員
わかばサポート 代表 石井 満氏 | |
| 参加者 | 32名 | |

指定介護予防支援

- ・事業対象者、要支援1、要支援2の認定者への介護保険サービス等利用調整
- 介護予防ケアマネジメント計画立案件数 416件(新規115件)
- 国民健康保険団体連合会への介護保険報酬請求件数 2,802件

（３）認知症地域支援推進員等配置事業の実施

平成 27 年度に村山市より業務委託を受け 11 年目となった。認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務を行う認知症地域支援推進員を 1 名配置し、認知症地域支援・ケア向上に努めた。

- ・認知症やその家族への相談業務 6 件
- ・認知症サポーター養成講座の開催 5 回 21 名
- ・認知症サポーターステップアップ講座の開催 1 回 8 名
- ・徘徊高齢者等支援事業（安心おかえり）登録申請者への訪問調査 38 件
- 3 月末現在登録者人数 11 名
- ・認知症ケアパスの作成、普及・啓発
 - 市内ふれあい・いきいきサロンで講話 6 回 82 名
 - 認知症支援ガイドブック第 6 版改訂版増刷 80 部
 - 認知症ケアパス【簡易版】作成 0 枚
 - 配布 0 枚
 - 配布先：窓口相談対応者、市内医療機関、民生委員・児童委員、
包括支援センター職員、サポーター養成講座受講者等
- ・チームオレンジ設置に向けた取り組み

設置に向けて市内認知症予防カフェ担当者（6 か所）に、村山市認知症支援連絡会議でチームオレンジの立ち上げについて検討してもらった。
- ・認知症支援連絡会議の開催
 - 第 1 回 期日 令和 7 年 5 月 19 日（月）10 名 市福祉センター
 - 内容 認知症地域支援推進事業について
認知症初期集中支援事業について
認知症カフェの運営について
 - 第 2 回 期日 令和 8 年 2 月 25 日（水）10 名 市福祉センター
 - 内容 認知症地域支援推進員からの報告
認知症初期集中支援チーム員からの報告
チームオレンジについて
認知症カフェの運営について
- ・認知症カフェ事業担当者情報交換会
 - 第 1 回 期日 令和 7 年 5 月 19 日（月）10 名 市福祉センター
 - 内容 今年度の認知症カフェの活動について
「村山市認知症カフェ事業」助成申請について
 - 第 2 回 期日 令和 8 年 2 月 25 日（水）10 名 市福祉センター
 - 内容 認知症カフェの現状について
「村山市認知症カフェ事業」実績報告について
- ・若年性認知症患者の相談・支援 0 件

（４）認知症初期集中支援事業の実施

平成 29 年度に村山市より業務委託を受け 9 年目となった。認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、認知症サポート医師 1 名とチーム員 2 名により早期診断・早期対応に向けた支援を実施した。

- ・年間相談件数 延12件 実5件
 (内容の内訳) 本人・家族 延 6件 実 4件
 医療機関 延 0件 実 0件
 介護事業所 延 0件 実 0件
 その他 延 6件 実 3件
- ・年間訪問件数 延0件 実0件
 (内容の内訳) 自宅 延0件 実0件
- ・年間チーム員会議 2回
- ・認知症初期集中支援チームの普及啓発
 市内医療機関・調剤薬局・民生委員・児童委員・各地域サロン・いきいきネットワークの協力者・認知症カフェ等へポスターやチラシ、ガイドブックを配布
- ・認知症支援連絡会議と認知症カフェ事業担当者情報交換会の参加
 期日 令和 7年 5月19日(月) 市福祉センター
 令和 8年 2月25日(水) 市福祉センター
 内容 認知症初期集中支援チーム員からの報告
- ・村山市はつらつ脳力教室参加
 期日 令和 8年 3月13日(木) 相談ブース設置

(5) 生活支援体制整備事業の推進

平成28年度に村山市より業務委託を受け10年目となった。単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図るため生活支援コーディネーターを1名配置するとともに構成員による協議体を設置運営し、定期的な情報共有及び連携協働による資源開発等に努めた。

①協議体の設置及び会議運営

- ・協議体(全体)会議
 第1回 期日 令和 7年 7月10日(木) 20名 市福祉センター
 内容 構成員の委嘱、生活支援体制整備事業および協議体について、サービス・活動B、D、通いの場の企画会議報告、高齢者暮らしのサポート一覧の作成、村山市指定訪問型サービスA従事者研修の開催について、生活支援体制整備事業研修会の開催について、高齢者の支援ニーズ・関心事や地域住民を含む多様な主体の活動状況の情報交換
- 第2回 期日 令和 7年11月12日(水) 9名 大久保地域市民センター
 内容 通所型サービスB「おおくぼ元気クラブ」の視察研修
- 第3回 期日 令和 8年 3月24日(火) 18名 市福祉センター
 内容 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況の報告、生活支援体制整備事業の実施状況の報告、高齢者のニーズ、関心事や地域住民を含む多様な主体による活動の情報交換、令和8年度のすすめ方
- ・協議体(企画)会議
 第1回 期日 令和 7年 4月 9日(水) 4名 市福祉センター
 内容 訪問型サービスDについて(ベテスダ)
 実施要綱の確認: 料金設定、通所型サービスBへの送迎など
- 第2回 期日 令和 7年 4月25日(金) 11名 河島山地区公民館
 内容 通所型サービスBの立ち上げについて(河島山地区)
 実施要綱の確認: 団体名、代表者名、実施日時、利用料金、活動内容

- 事業対象者24名、非該当者4名
- 第3回 期日 令和 7年 5月14日(水) 10名 市福祉センター
内容 通いの場の活動について、活動費の交付について
- 第4回 期日 令和 7年 5月28日(水) 4名 市福祉センター
内容 サービス・活動B、サービス・活動Dの立ち上げについて(在宅を支える家族の会)
- 第5回 期日 令和 8年 1月21日(水) 9名 市福祉センター
内容 サービス・活動B、Dの実施状況と課題について
- 第6回 期日 令和 8年 2月17日(火) 7名 市福祉センター
内容 通いの場の活動について、活動費の交付について

②資源開発

・村山市訪問型サービスA従事者研修を開催

期日 令和 7年 7月24日(木)・29日(火) 合計 10時間 市福祉センター
参加者 5名(うち修了者5名)

内容 講義1 介護保険、介護予防・日常生活総合事業について
講師 村山市福祉課介護保険係長 庄田 百合氏
講義2 尊厳の保持とケアマネジメント
講師 村山市地域包括支援センター 社会福祉士 日塔 佳代氏
講義3 コミュニケーション・マナー
講師 村山市社会福祉協議会訪問介護員 天口 美夏氏
講義4 リスクマネジメント(緊急時の対応)
講師 村山市社会福祉協議会訪問介護員 天口 美夏氏
講義5 生活支援サービスについて
講師 村山市社会福祉協議会訪問介護員 天口 美夏氏
講義6 高齢者の身体の変化と多い病気
講師 村山市地域包括支援センター主任・看護師 高橋 律子氏
講義7 認知症の理解
講師 村山市地域包括支援センター 社会福祉士 増川 直子氏
講義8 権利擁護について
講師 村山市社会福祉協議会生活支援係主任・社会福祉士 金澤 広奈氏

・地域に不足するサービスの創出と訪問型・通所型サービスの活動支援を行った。

実施主体 訪問型サービスA：社会福祉協議会訪問介護事業所、訪問介護ベテスダ
通所型サービスA：デイサービスベテスダ
通所型サービスB：基点・浦地区みんなの癒し所
おおくぼ元気クラブ
河島山元気の集い
在宅を支える家族の会
訪問型サービスD：移動支援ベテスダ
在宅を支える家族の会

・要支援となることを予防するため通じた屋外での介護予防事業「ぷらっとウォーキング」の活動支援を行った。

実施主体 ベテスダナイトウォーキング
二日町さわやかウォーキング
大高根地区ぷらっとウォーキング

- ・既存の制度やサービスの隙間を補完する新たな生活支援サービスの企画

住民主体で活動を行っている生活支援活動団体の医療関係機関へのPRなど活動支援を行った。

実施主体 生活支援活動団体村山ちょべっとサポート

- ・困っている人がいたらおたがいさまの気持ちで助け合えるような関係づくりをめざして、お茶の間のような気軽に集まれる通いの場づくりの運営支援を行った。

実施主体：俵町もくよう会

- ・介護予防・生活支援を目的として開発してきた以下のサービス事業の活動支援を行った。

買い物支援サービス「かーうー号」

外出支援サービス

除雪サービス「雪どけ隊」

- ・ネットワーク構築のため市内のインフォーマルサポートも含めた「地域資源情報一覧」を作成し、介護保険サービス事業所及び介護支援専門員従事者等関係機関、民生委員・児童委員、主任児童委員等に配布した。

- ・介護予防・生活支援サービス事業の周知のため、村山の地域福祉を考える市民研修会を共催した。

期日 令和 7 年 10 月 30 日（木）村山市民会館

参加者 218 名

内容 講演「いのちの勉強会」～最期まで自分らしく生きるために～

講師 八鍬医院 院長 八鍬 直氏

講演「知っておこう！亡くなった後の事務手続き」

講師 村山市役所市民環境課 副主任 大戸 忠行氏

（６）在宅医療・介護連携推進事業の実施

平成 29 年度に村山市より委託を受け 9 年目となった。医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携して、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築を推進するため社会福祉士を 1 名配置した。

- ・医療機関、介護事業所等の情報の収集及び活用

リスト及びマップの情報更新

令和 7 年 7 月 村山市社会福祉協議会ホームページへ医療機関に関する情報を掲載

在宅医療&介護マップ（A2 版ポスター）の情報更新および配布

令和 7 年 7～9 月 第一センター管内医療機関、介護サービス事業所、公共機関、
医療・介護連携拠点 137 ヶ所、村山地域内病院・最上地域内病院 15 力所、
村山保健所

令和 7 年 9 月 村山市社会福祉協議会ホームページにて最新版を掲載

- ・北村山地区医療・介護多職種連携研修会の開催

期日 令和 8 年 1 月 27 日 参加者 70 名（内 第一センター 37 名）

内容 講演「スムーズな入退院支援を考える情報交換会」

～本人・家族のためにできることを考えよう～

講師 「村山地域入退院支援の手引き」改訂について

村山保健所保健企画課企画調整担当 主任保健師 古名 矩子氏

「北村山救急医療情報シート」改訂について

北村山公立病院 院長 國本 健太先生

・医療介護連携に関する各種研修会、会議等への参加

令和7年 4月21日 北村山医療・介護連携センター全体会議（村山市社会福祉協議会）
6月 6日 尾花沢市介護支援専門員連絡会議（講師として参加）
6月20日 令和7年度長寿社会開発センター研究セミナー（オンデマンド配信）
7月15日 山形県高次脳機能障がい研修会
7月15日 介護保険主治医研修会（講師として参加）
7月19日 村山地域摂食嚥下機能支援協議会令和7年度地域保健研究事業研修会
12月 3日 山形県高次脳機能障がい者リハビリテーション講習会
12月18日 山形県立中央病院 在宅医療・介護連携研修会
令和8年 1月28日 篠田総合病院 認知症疾患医療センター 高齢者セミナー
2月12日 山形県在宅医療推進事業オンライン研修会
2月20日 在宅医療・介護連携室たんぽぽ研修会

・北村山2市1町医療介護連携に関する研修会

期日 令和7年11月26日 村山市農村環境改善センター 参加者57名
内容 講演「（高齢者の）摂食嚥下障害について」
講師 大久保歯科医院 副院長 大久保 明氏

・医療介護連携センターと行政担当者との打ち合わせ

令和7年5月13日、令和8年2月3日（村山市福祉センター）

・各市町で開催している地域ケア会議等への参加

村山市 地域ケア会議 9回

・北村山医療介護連携推進会議の開催

令和8年3月5日（東根市ふれあいセンター）
内容 北村山医療介護連携センターの活動について

・第一・第二医療介護連携センターとの打ち合わせの開催

令和7年4月17日、7月29日、12月4日、令和8年1月21日
（村山市福祉センター）

・在宅医療・介護連携に関する相談支援

年間相談件数 82件
（相談経路） 個人30件、医療機関49件、介護事業所2件、その他1件

・在宅医療・介護拠点連絡会の参加

令和7年 6月12日 第16回在宅医療・介護連携拠点情報交換会
（天童市東村山郡医師会館）
12月12日 第17回在宅医療・介護連携拠点情報交換会
（山辺町社会福祉協議会）

・地域住民への普及啓発

・地域市民センター等へ在宅医療＆介護マップの配布を実施
・北村山2市1町住民向けセミナー
期日 令和8年3月25日 参加者24名
内容 講演「いつまでも地元で自分らしく生きていくために…」
ーいざという時に備えておきませんか？ACP（人生会議）ー
講師 北村山公立病院 院長 國本 健太先生

・看取りに関する住民向け講演会への協力及び地域住民への普及啓発

令和7年 9月 6日 看取りシンポジウム参加
テーマ 看取りシンポジウム10年の軌跡

・関係各所への情報提供

PFC HOSPITAL 4件、講演会・研修会 案内等9件、
北村山第二医療介護連携センター調査結果報告2件

3、福祉サービス利用支援

福祉サービスの利用や地域生活の支援に向けた相談援助・支援活動を行うとともに、地域全体の福祉サービスの質の向上に向けた、多様な社会資源の情報提供・連絡調整を行うために以下の事業を実施した。

(1) 福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者や知的・精神障がい者等、判断能力の不十分な方が、福祉サービスを利用する際の利用援助や、日常生活に必要な金銭管理の支援を行った。

- ・相談件数 534件
- ・新規契約締結件数 1件
- ・解約件数 2件
- ・援助継続件数 9件
- ・延べ支援回数 148回

(2) 法人後見事業の推進

福祉サービス利用援助事業利用者が増大する中で、成年後見制度が必要なケースも多くみられることから、切れ目なく一体的な支援を行うため法人後見事業の受任をした。

- ・運営委員会開催回数 2回
- ・新規受任件数 0件
- ・終了件数 0件
- ・継続件数 5件

(3) 成年後見センターの運営

認知症、知的障がいその他の精神上的の障がい等により判断能力が不十分な方を支えるための手段である成年後見制度について、その理念に沿った利用促進を図った。

- ・初回相談受付件数 9件
- ・相談支援件数 35件
- ・親族後見人支援件数 0件

(4) 生活福祉資金貸付事業の促進

民生委員児童委員活動の中から法制化した生活福祉資金の効率利用をすすめ、償還に関しても民生委員と連携し、低所得世帯等の自立更生に努めた。今年度、新規相談はあったが貸付まで至らなかったため0件となっている。

資金種類	件数	金 額
総合支援資金	0	0円
福祉資金	0	0円
教育支援資金	0	0円
緊急小口資金	0	0円
合 計	0	0円

(5) 福祉資金の活用

村山市社協独自の資金貸付制度として、急を要する生活困窮者の自立に向けた生活支援のため、一時的なつなぎ資金の貸付をする。

貸付件数 5件
貸付額 332,000円

（６）生活困窮者自立支援事業

生活困窮者が生活保護に陥る前のセーフティネットとして、自立生活をサポートすることができるよう「生活困窮者自立支援事業」を受託し、関係機関と連携しながら事業を推進した。

- ・初回相談受付件数 28件
- ・相談支援件数 546件
- うち支援プラン作成件数 2件

（７）フードバンクを活用した生活困窮者支援事業

赤い羽根共同募金 物価高騰下のいのちをつなぐ支えあいキャンペーンからの配分を受けて、必要な配布用食材を購入。また、フードバンクに寄付された食材も合わせて活用し、村山市内に居住の生活困窮者の方へ食料を配達することで生活状況等把握を行い、村山市生活自立支援センターや村山市役所福祉課等に結び付け、継続的な支援ができるようきっかけづくりをおこなった。

- ・実施回数 53回
- ・利用者延べ人数 169人

（８）生活福祉金貸付フォローアップ支援員設置事業

令和5年4月より、緊急小口資金等特例貸付の借受世帯等に対するフォローアップとして、支援員が自立相談支援機関、ハローワーク、福祉事務所との関係機関との連携を図りつつ、償還猶予、免除などを含めた総合的な生活相談・支援を積極的に行った。

- ・相談支援件数 219件
- ・償還猶予申請件数 2件

（９）福祉基金への預託

寄付件数 0件

（１０）社会奉仕善意銀行の充実

社会連帯性にもとづく隣人愛と相互扶助の精神を育てる善意銀行の運営とその充実に努めた。また、寄付者の意向に沿い、児童や困窮世帯等を支援した。

① 現金預託・払出状況

〈預託〉

預託者	預託金額
村山市手をつなぐ育成会 様	309,809円
国際ソロプチミスト東根 様	200,000円
杉島とみお（カラオケスタジオ杉島）様	15,680円
楯岡キリスト教会 様	5,000円
匿名 様	30,000円
匿名 様	5,000円
匿名 様	3,000円
前年度繰越金	5,073,453円
合 計	5,641,942円

〈払出〉

払出理由	払出金額
義援米提供経費	61,062円
被・要保護世帯家屋補修工事経費等	50,100円
火災見舞金（4世帯）	20,000円
合 計	131,162円

現在預金罫計残高

5,510,780円

② 物品預託・払出状況

預 託 者	内 容	払 出 先
JA みちのく村山女性部 様	フードドライブによる食品一式	本会フードバンクへ
生協共立社 北村山生協 様	フードドライブによる食品一式	//
河島山自治会 様	白米計10kg	//
匿名 様	衣類、肌着20着	介護サービス事業所へ
匿名 様	乳幼児用おむつ3袋	放課後デイサービス等へ
匿名 様	ジュース（500ml）165本	介護サービス事業所へ 放課後デイサービスへ
匿名 様	乾麺、飲料、調味料等	本会フードバンクへ
匿名 様	紙おむつ、インスタントラーメン、 こたつ用掛布団	本会フードバンクへ 放課後デイサービスへ
匿名 様	白米、缶詰、乾麺、飲料等	//
匿名 様	毛布、布団等	困窮世帯へ
株式会社丸公様より村山市で寄付を受けたもち米 1,000kg について、単位老人クラブ、子ども食堂、福祉施設、ふれあい・いきいきサロン団体へ配布しました。		

③ ねたきり老人等を抱える家庭へのベッド・車イスの無料貸出事業

〈貸し出し件数〉令和8年3月31日現在

品 名	令和7年度	総貸し出し件数
ギャッジベッド	0件	6件
車イス	6件	5件
短期間車イス	16件	

4、在宅福祉サービス

介護保険制度に基づく自立支援及び介護予防のため高齢者等の介護サービス、障害者自立支援法に基づく障がい者の自立支援のための居宅介護サービスおよび放課後等デイサービスを実施した。また、高齢者の生きがい対策と社会参加の促進をめざした活動に取り組み、心身機能の維持向上及び自立促進を図った。

(1) 介護保険事業の実施

介護サービスを必要とする人々が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護保険事業に積極的に取り組んできた。

① 居宅介護支援事業

利用者が適切なサービスが利用できるよう関係機関等と連携を図り、総合的、かつ効率的なサービスの提供に努めた。

月別ケアプラン作成数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
28	28	30	24	24	24

10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	25	27	28	29	28

延べ利用者数 364名（前年度431名）

延べケアプラン作成数 319件（前年度408件）

要介護認定調査 39件（前年度 31件）

② 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄の介助、食事等の介助その他の生活全般にわたる訪問介護サービス提供に努めた。

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	介護	15	15	13	17	15	15
	予防	11	14	14	13	13	13
提供回数	介護	185	187	177	209	205	190
	予防	63	84	86	78	66	80

区 分		10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	介護	16	17	17	17	17	19
	予防	13	14	14	15	14	14
提供回数	介護	210	176	191	189	188	260
	予防	72	75	86	91	82	94

延べ利用者数 355名（前年度348名）

延べサービス提供回数 3,324回（前年度3,213回）

減免対象者 0名（前年度2名）

(2) ほほえみ訪問サービス事業

介護保険事業対象外のサービスを必要とする方へ、本会独自のホームヘルプサービス「ほほえみ訪問サービス」事業を実施し、身体介護・家事援助のサービスを提供した。

- ・延べ利用者数 91名（前年度71名）
- ・サービス提供回数 176回（前年度114回）

(3) 障がい福祉サービス事業

① 居宅介護事業

居宅介護が必要な身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者及び児童に対して、その有する能力に応じて居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、家事援助、身体介護その他の生活全般にわたる支援を行った。

- ・利用者数 9名〔身障3名・知障1名・精障4名・重訪1名〕
- ・サービス提供回数 1,535回（前年度1,623回）

② 村山市総合福祉支援センター事業

村山市障がい者福祉プランに基づき、村山市とともに障がい福祉サービス事業を推進し、障がい者及び障がい児の保護者等の福祉向上に資するため、村山総合支庁北庁舎（旧村山保健所）を借用して、障がい児・者が自立していきいきと生活し、人と人との交流が深まる共生型の地域社会を実現するため、障がい福祉サービス事業等を実施した。

□第一事業所 村山市楯岡笛田四丁目5番1号（旧村山保健所）

- ・障がい福祉サービス事業の経営
多機能型事業所わっしょい！（就労継続支援B型、生活介護、就労移行支援）
- ・就労定着支援事業の経営
就労定着支援事業所
- ・障がい児通所支援事業の経営
放課後等デイサービスたいよう（小・中学・高等部）
- ・相談支援事業の経営
相談支援事業所

□第二事業所 村山市中央一丁6番5号（村山市総合福祉施設いきいき元気館内）

- ・障がい児通所支援事業の経営
放課後等デイサービスおひさま（小・中学・高等部）
児童発達支援事業いずみ（就学前の児童）

③ 第一事業所

相談支援事業

利用者の健やかな生活と人権を守り、利用者の立場に立った適切なサービスの提供を確保し、障がいがあっても地域で安心して暮らし続けられるように、困ったことや分からない事などを気軽に相談できる窓口として相談支援を行なった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
特定相談	32	22	38	15	24	24
障がい児相談	11	8	6	39	5	12
合 計	43	30	44	54	29	36

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定相談	22	16	30	21	15	17
障がい児相談	6	9	37	6	6	11
合 計	28	25	67	27	21	28

・利用登録者数（令和8年3月31日現在）

・特定相談 92名

・障がい児相談 65名

放課後等デイサービス事業 たいよう（小・中学・高等部）

放課後等デイサービス「たいよう」では、障がいを持つ子供達への、日常生活での動作指導や集団活動への適応訓練を通して、一人ひとりの状況を踏まえながら社会資源を活用したり、必要な援助を受けることで自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう支援をした。併せて今年度から特別支援学級の子供達の受入れを行い、学習支援の取り組みを行った。

・定員 1日 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働日数	21	20	21	22	17	20
利用者人数	10.6	11.2	10	11.1	10	11
延べ利用者数	222	223	209	245	170	222

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働日数	22	18	20	19	18	21
利用者人数	11	9.3	11.2	11	11.1	11.1
延べ利用者数	238	168	223	208	199	233

・利用登録数 16名（令和8年3月31日現在）

・稼働日数（開催日数） 239日

・年間延べ利用者数 2,560名

・1日平均利用者数 10.7名

多機能型事業所わっしょい！

ア 就労移行支援事業

就労や生産活動の機会を提供するとともに、就労に必要な知識、技能が高まった方には企業実習などを行い、一般就労に向けて支援した。

就職実績

・就職数 3名

主な実習先及び求職活動：ハローワーク村山（求職登録、求人検索、求人申込、利用案内）

職場実習（しまむら東根店・尾花沢店、株式会社パル・ミート）

職場見学（和歌山産業株式会社、株式会社マイセルフ、株式会社

ホンダモビリティ東北、特別養護老人ホーム眺葉園、マルハン東根店）

イ 就労継続支援B型

企業受注（プラスチック製品の組立、バリ取り、仕分けなど）の軽作業等、生産活動その他の活動の機会の提供及び就労に必要な知識や能力の向上のための訓練や支援を行った。

また、生産活動（作業）で得られた収益については、工賃として支給した。

工賃実績

主な作業内容：リサイクル部品の解体、プラスチック製品の組立、バリ取り、タオル印刷包装作業、草取り作業、フルーツの保護キャップ加工、シール貼付作業、袋詰め作業

工賃の算定：半年毎に評価を行い、利用者の能力に応じてA～F区分の七段階に日額単価を設定し支給した。

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減
工賃支払総額（円）	3,180,935	2,749,820	431,115
工賃支払対象延べ人数	3,807	3,607	200
平均工賃月額（円）	16,567	15,176	1,391
平均工賃日額（円）	836	762	74

※生活介護及び就労移行支援利用者を除く

ウ 生活介護

常時介護が必要な方の日中活動の場として、こころ豊かな生活の実現を支援し、安楽な環境、創作活動又は生産活動の提供と健康管理等を行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働日数	21	20	21	22	17	20
就労移行支援	7.00	6.40	6.62	6.00	5.24	4.65
就労B型	15.67	15.25	16.14	15.80	16.82	17.00
生活介護	13.43	13.60	13.60	13.14	12.76	12.45
延べ利用者数	758	705	555	770	592	682

※各事業欄には平均利用者人数を記載

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働日数	22	18	20	19	18	21
就労移行支援	4.50	4.06	3.70	3.42	3.44	3.10
就労B型	16.36	15.33	15.65	16.10	15.94	15.10
生活介護	13.54	13.33	14.00	13.95	13.89	13.66
延べ利用者数	757	589	626	636	599	669

- ・利用登録数 就労移行5名 就労B型21名 生活介護18名 合計44名
- ・稼働日数（開催日数） 239日 （令和8年3月31日現在）
- ・年間延べ利用者数 7,354名
- ・1日平均利用者数 30.77名

就労定着支援事業

就労移行支援事業等の利用終了後、新たに雇用された（就労Aを除く）期間が6ヶ月に達した方を対象に、月1回以上継続して面談を行い、就労に伴って生じている生活面・就業面の課題を解決し、長く働き続けられるように支援を行った。

就労継続者の状況（令和8年3月31日現在）

- ・利用者数 3名
- ・職種 パチンコ店の清掃、高齢者施設等の清掃、製造業、事務
- ・支援内容 就労企業先との連絡調整及び障がい特性に伴う情報提供、課題解決のための支援ツールの作成、施設を活用しての支援（健康管理、体力作り、余暇支援）、訪問支援、通勤支援、余暇支援、個別面談等

④ 第二事業所

放課後等デイサービス事業 おひさま（小・中学・高等部）

放課後等デイサービス「おひさま」では、児童それぞれが余暇活動の楽しい過ごし方を見つけたいけるように支援した。同時に、仲間と共に遊ぶ楽しさを味わえるように、関わり方やマナーを身につけられるように関わった。また、排泄や着替え・食事などについての意識付けにも努めた。

定員1日 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働日数	21	20	21	22	17	20
延べ利用者数	199	186	185	206	161	186
平均利用人数	9.4	8.8	8.8	9.3	9.4	9.3

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働日数	22	18	20	19	18	21
延べ利用者数	197	146	151	173	152	193
平均利用人数	8.9	8.1	7.5	9.1	8.4	9.4

- ・利用登録者数 16名（令和8年3月31日現在）
- ・稼働日数 239日
- ・年間延べ利用者数 2,140名
- ・1日平均利用者数 8.9名

児童発達支援事業所 いずみ

児童発達支援事業所「いずみ」では、発達上何らかのサポートが必要な子どもたちを対象として、子どもたちが未来に向けて自分らしく豊かにくらしていけるよう、子どもたちひとりひとりの発達課題にあった内容を、集団、個別にサポートし、社会性、生活習慣、コミュニケーションの獲得学習支援等、個々の発達課題に応じた個別療育を行った。

定員 1日 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
稼働日数	21	20	21	22	17	20
利用者延人数	251	236	250	280	218	250
平均利用者数	11.9	11.8	11.9	12.7	12.8	12.5

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稼働日数	22	18	20	19	18	21
利用者延人数	284	220	256	245	231	273
平均利用者数	12.9	12.2	12.8	12.8	12.8	13.0

- ・利用登録者数 29名（令和8年3月31日現在）
- ・年間稼働日数 239日
- ・年間延利用者数 2,994名
- ・1日平均利用者数 12.5名

5、法人運営

理事会運営のほか、経理事務をはじめとする財務管理、職員の採用や研修・能力開発、人事管理、所轄庁への届け出や対外的な法的対処を行う法務に関する業務など、民間団体としての主体的な経営判断を行い、かつ社協会員をはじめとする地域住民に開かれた組織体制づくりを目指した。

(1) 社協会員の状況

- ・一般会員数 6,686世帯（前年度 6,718世帯）
- ・賛助会員数 169件（前年度 172件）

(2) 法人運営事業の開催

① 理事会開催状況

第1回理事会	議第 1号	令和6年度事業報告の承認について
	議第 2号	令和6年度収支決算の承認について
	議第 3号	評議員選任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について
	議第 4号	令和7年度定時評議員会について
	議第 5号	令和7年度定時評議員会に提案する理事・監事選任案について
第2回理事会	議第 6号	会長、副会長及び常務理事の選定について
	議第 7号	第三者委員の選任について
	議第 8号	評議員選任・解任委員会の委員選任について
第3回理事会	報第 1号	職務執行状況について
第4回理事会	議第 9号	令和7年度第1次補正予算について
	議第10号	令和8年度事業計画（案）について
	議第11号	令和8年度収支予算（案）について
	議第12号	社会福祉協議会表彰審査について
	議第13号	評議員選任候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の開催について
	議第14号	令和7年度第2回評議員会の日程及び議題について
	議第15号	令和7年度第2回評議員会に提案する理事選任案について

② 評議員会開催状況

定時評議員会	議第 1号	令和6年度事業報告の承認について
	議第 2号	令和6年度収支決算の承認について
	議第 3号	理事・監事の選任について
第2回評議員会	議第 4号	令和7年度第1次補正予算の承認について
	議第 5号	令和8年度事業計画（案）の承認について
	議第 6号	令和8年度収支予算（案）の承認について
	議第 7号	理事の選任について

(3) 福祉センター管理業務事業

村山市の福祉の拠点施設として、ボランティア団体、保護司会等に事務室の貸し出しをし、市の福祉向上に資した。また、ボランティア団体の活動の拠点、ケアマネジメント研修会や地域ケア会議等の情報交換としての場、無料法律相談及び心配ごと相談会場としての活用、および福祉団体へ研修会場としての利用促進を図った。

① 第一事務室及び第二事務室

令和7年4月1日～令和8年3月31日

第一事務室：社会福祉法人村山市社会福祉協議会

第二事務室：公益社団法人村山市シルバー人材センター

② 第三事務室及び会議室の月別利用状況

	第三事務室			会議室		
	利用人数	団体数	利用回数	利用人数	団体数	利用回数
4月	48	3	13	111	5	10
5月	62	4	18	108	3	13
6月	51	3	10	98	3	10
7月	35	4	12	121	5	13
8月	35	3	12	66	2	7
9月	51	4	11	117	4	16
10月	41	3	12	131	2	12
11月	25	3	8	75	3	8
12月	40	3	11	82	2	9
1月	29	4	8	87	3	10
2月	46	4	14	110	4	12
3月	34	2	11	169	5	15
合計	497	40	140	1275	41	135

